

交流通信

このコーナーでは、国内外合わせて7つある田原市の姉妹・友好都市などの情報をお届けします。

▶政策推進課 ☎23局3507

姉妹都市 設楽町 みつはし とよくに 三都橋・豊邦交流センター

山や川などの自然を満喫できる、2つの交流センターをご紹介します。

●交流センターってどんなところ？

豊川上下流域交流促進を目的に、廃校になった設楽町の小学校を田原市が借り上げている施設です。

●利用方法は？

- 対象 田原市民 ※営利目的での利用は不可
- 活用方法 キャンプ、バーベキュー、スポーツなど
- 料金 無料(電気、水道などの使用料も無料)
無料レンタル品あり(ワンタッチテントなど)
- 申し込み 各交流センター会長へ電話にて(午後8時まで)

申し込み先	電話番号
三都橋交流センター 会長 原井 正さん	☎(0536)64局5264
豊邦交流センター 会長 丸山正勝さん	☎(0536)64局5499

※利用日当日に、交流センターで申込書に記入



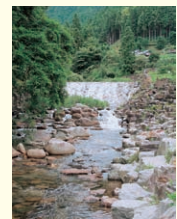
▲三都橋交流センター



▲豊邦交流センター

●周辺のおすすめスポットは？

三都橋交流センター前の坂を上がれば、「栗島河川公園」があります。豊邦交流センター裏にも川があり、階段を下りれば、すぐに遊ぶことができます。水遊びスポットは市ホームページでもご紹介しています。



▲栗島河川公園

※両交流センターの詳細は、ホームページの公共施設案内をご覧ください。

☎<http://www.city.tahara.aichi.jp/>

平成5年に起きた、奥尻島での津波被害の教



◆「津波見物」は絶対しない！
平成10年、沖縄県の石垣島沖でマグニチュード7.6の地震が発生。気象庁は石垣島に津波警報を発令しました。ところが、高台へ避難せず、カメラを片手に海岸沿いに集まり津波見物をする人がいました。さいわい、津波がとてもし小さかったため、被害はありませんでした。

▼防災対策課 ☎23局3548
※「津波被害を防ぐために」として、ご紹介してきましたが、今回でこのシリーズは最後です。

◆俗説を信じず、正しく情報収集
昭和57年に日本海中部地震が発生し、海岸付近にいた人々が津波にさらわれるなどの被害が多く発生しました。
この地震が発生するまでは、「日本海側には津波はない」という俗説があったため、津波への警戒心が不十分だったと指摘されています。
根拠のない俗説に惑わされず、テレビやラジオなどの津波に関する情報に耳を傾け、正確な情報入手しましょう。



かんちゃん

防災まめ知識

63

津波被害を防ぐために④ 過去の教訓を忘れずに



忍びよる巨大地震

こんにちは、かんちゃんです。「津波被害を防ぐために」として、シリーズでご紹介しています。押し寄せる津波から身を守るには、前回ご紹介したようにとにかく避難することです。津波被害を最小限にするために、過去の教訓から学ぶことも多くあります。

訓は、残念ながら生かされていませんでした。